

## 令和3年度 ゆずり葉こども園事業計画

### 1. 概要

#### ①運営方針

- 乳児からの無償化に伴い、他市から転入してくる方もいますが、自園がある守口市の東部地域は0歳児～2歳児までの待機児童が少ない状況です。1号認定児の受け入れについても積極的に情報を発信するため、近隣の病院、スーパーなどの協力店舗を探し、園での活動内容等を掲載したパンフレットを設置してもらえよう働きかけ、園児の獲得に繋げていきます。
- 人材の確保が非常に厳しい状況の中で、正規職員の採用は特に難しくなっています。5月、6月の就職フェアに参加し、早い時点で新規採用を考えています。非常勤保育士の比率が大きくなっていることからシフトが組みにくい状況になっています。可能な限り正規職員を雇用することでシフトが組みやすくなることと、時間外労働の削減ができるように労働環境を改善したいと考えます。
- 保育士不足は深刻な状況であり、今年度も0歳児については年度当初の定員に対して3名減でスタートしなければいけない状況になりました。新年度開始後も人材の採用活動を継続し、職員採用ができた時点で随時、園児の受け入れを行います。
- 民間移管の条件として1年目は保護者アンケート、3年目は第三者評価の受審の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で受審が延期になりました。今年度は受審に向けて評価項目をもとに、7月から3ヶ月を目安に職員と一緒に一から勉強をし、受審に向けて取り組みます。
- 園舎の老朽化が進み、修繕が必要な個所が増えています。園舎の設備点検を行い、修繕が必要な個所については計画的に修繕を行い、園児にとって安全な環境づくりを行います。

#### ②定員

111名

1号認定児 3名      2号認定児 69名      3号認定児 39名

#### ③事業日数

292日（日曜、祝日及び12/29～1/3は休園）

#### ④開園時間

平日・土曜日 7:30～19:00

#### ⑤保育時間

★2号3号認定児

平日、土曜日 早朝保育 7:30～8:30

通常保育 8:30～16:30

延長保育 保育短時間児 16:30～19:00

保育標準時間児 18:30～19:00

★1号認定児

平日 早朝保育 7:30～9:00

通常保育 9:00～13:30

預かり保育 13:30～19:00

- ⑥職員数 園長 1 名 主幹保育教諭 1 名、看護師 1 名 保育教諭 1 8 名（うち非常勤 9 名）  
 学校内科医・学校歯科医 各 1 名（年 2 回検診実施）  
 学校薬剤師 1 名（年 2 回検査実施）  
 給食委託業者からの栄養士 1 名 調理員 3 名

## 2. 教育・保育運営

### ①教育・保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

### ②教育・保育方針

- 社会福祉法人 白鳩会 白鳩メソッド、1 日の教育保育の流れを中心に子ども達が生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮して「生きる力」を育む。
- 在園児および地域の子育ての支援を行う。  
 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

### ③教育・保育の目標

- 乳幼児の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）非認知脳力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

### ④クラス編成及び職員

0 歳児	ひよこ組	6 名		保育教諭 2 名	乳児フリー 1 名
1 歳児	あひる組	1 2 名		保育教諭 2 名	
2 歳児	もも組	1 8 名	（1 号認定児 0 名）	保育教諭 3 名	
3 歳児	あか組	2 3 名	（1 号認定児 1 名）	保育教諭 2 名	幼児フリー 2 名
4 歳児	き組	2 0 名	（1 号認定児 1 名）	保育教諭 2 名	
5 歳児	あお組	2 3 名	（1 号認定児 1 名）	保育教諭 2 名	

---

合計園児数 1 0 2 名（1 号認定児 2 名）保育教諭 1 3 名 フリー 3 名  
 朝夕延長保育担当教諭 2 名

### ⑤教育・保育内容

- 昨年度修正した年齢ごとの「1 日の保育の流れ」を職員間で周知徹底し、保育士の質の向上に努めます。
- ゆるやかな育児担当制、少人数のグループ保育の充実を図ります。乳児保育は人間形成の最も大切な時期であるため、愛情を持った優しい関わりを心掛け、身近な大人との愛着関係を築き、自己肯

定感を育てるために、職員指導を行います。また、乳児期からの愛着関係を土台とし、コミュニケーション力や自己肯定感を高め、非認知脳力と認知能力を育みます。

- 落ち着いて生活が出来ない子や、配慮が必要な子どもが増える中、保育士が日々の活動に追われず、時間に余裕を持って保育を行います。また、家庭では保護者の声が大きく、乱暴な言葉遣いの中で育てられている子どもも多く、子どもを取り巻く環境の悪さもみられます。子どもの発達の良い筋道を見直せるよう、保護者にも伝え、保護者と一緒に健全な子育てを目指します。
- 前夜の脳内ストレスを持ったまま登園する子どもが多く、「朝の意味ある運動」でしっかり脳内ストレスを発散させる運動を行います。乳児期から子どもの体幹が不安定なため、体幹を意識した運動内容を考え、運動能力を高めます。
- 子ども達の体力の低下や脳が興奮している状態は健康的ではないと考えます。昨年度から導入した安田式運動遊具を正しく使い、子ども達が安全に熱中して遊べるような保育を行います。
- リトミック研修を通して子どもの身体の発達を学び、乳児期からの積み重ねが幼児期へと繋がっていることを再認識したところで、園内でのリトミックの取り組みを見直し、動作や身体の使い方を丁寧に教えます。
- 生活習慣や家庭での子育てに問題を抱えている親子が多い為、「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨し、朝食をとること、睡眠をとることの大切さ、社会的なルールである朝の登園時間の重要性等、規則正しい生活が子どもの成長に大きく影響することを伝え、集団で社会を学ぶことの大切さを理解してもらいます。

#### ⑥家庭との連携

- 保育日誌やおたよりはドキュメンテーションで発信し、子どもの成長をわかりやすく「見える化」して保護者に伝えます。
- 入園説明会、年2回のクラス懇談会、年1回の個人懇談会などの場で教育・保育理念、目標、方針について保護者に説明します。クラス懇談会では1日の子どもの様子をビデオやレジュメを用いて現状を報告し、課題の部分についても保護者に伝え、子どもの育ちを考えます。保護者会の中でも保育内容について理解を得られるようにし、信頼関係を深めます。
- iPad や携帯の動画視聴などの遊びで脳が興奮状態になったり、生活リズムの乱れがみられます。子どもの育ちや発達に影響が出るため、規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を呼び掛け、子ども達が健康に生活できるように努めます。
- 配慮が必要な子どもについてはケース会議を持ち、包括支援センター、保健センターと密に連携を取り、個々の子どもの発達や家族構成、家庭環境などを職員間で情報共有し、その子に応じた配慮を行います。

#### ⑦人材育成

- 「1日の保育の流れ」を徹底した保育を行います。非常勤保育士が増える中で、リーダー保育士が中心となり「1日の保育の流れ」を使って丁寧に指導し、安心して仕事内容を覚えていけることを目指し、全職員が「1日の保育の流れ」に沿った保育の継続に努めます。

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響から研修のスタイルが変化し、web研修が主流になりました。web研修は園内で職員全員が同じ研修を受けることが出来るため、職員間で共有しやすく効率的です。計画を立てて積極的に研修に参加します。
- 個別の研修計画を基に、法人の理念に沿った研修に参加し、専門職としての知識や技術の向上を図り、教育保育の質の向上を目指します。

#### ⑧地域の実態に応じた事業

- 地域に向けて情報を発信するために、園の外に掲示板を設置します。園庭開放等のお知らせを掲示し、地域の方に園を利用してもらえるように呼び掛けます。
- 民営化されて4年目を迎えますが、地域のなかでも知名度が低いことから、地域に向けた情報発信を強化します。園庭開放等を通じて在園児との交流を行い、地域の方に園の事を知ってもらう機会を設けます。
- 園見学に来られた時も園庭を開放し、在園児との交流をしたり、保護者にわかりやすく活動内容を伝えて、園に興味を持ってもらえるようにします。
- 近隣小学校の授業参観の見学に行き、子どもの育ちや生活態度などの様子を見せてもらいます。また、小学校からも就学前に園での様子を見に来てもらい、小学校への移行がスムーズにできるように引き継ぎを行います。
- 年長児が高齢者施設（デイサービスセンター）への訪問を行い、歌や和太鼓の演奏を披露したり、世代を超えた交流の機会を持ちます。

#### ⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置を行い、苦情解決の責任者を園長、苦情受付担当者を主幹保育教諭として苦情解決に努めます。苦情解決システムについては、園のガイドブックや入園説明会、クラス懇談会などで保護者に周知します。
- 「ご意見箱」を設置していますが、時代の変化に伴い、メールだと気軽に送れるというところから、メールを利用した意見や要望が出てくるのが想定されます。意見・要望については、概ね24時間以内に回答書の貼り出し、またはメールに返信をします。24時間以内に回答できない案件についてはその旨を貼り出します。
- 保護者からの苦情や意見は真摯に受け止め「問題解決用紙」にまとめ、迅速な対応を行うと共に全職員で共有します。

#### ⑩リスクマネジメント

- 非常災害発生時や感染症発生状況等にはモバイル配信システム（よいこネット）を使い、保護者に迅速に情報を配信します。
- 非常時の園児の受け入れ先として、近隣のスーパーや大学を使用させていただけるように依頼し、日ごろから関係を深め、訓練を行います。

- 毎月1回の避難訓練（地震、火災）の実施と、消防署と連携を取っての年1回の総合災害訓練を行います。災害時はよつば小学校が一時避難所となるため、大阪880万人訓練の時に合同で避難訓練を行い、避難方法を確認します。
- 守口警察署と連携して年1回、不審者対策の訓練を行います。
- 看護師が中心となり、感染症や嘔吐処理の方法、SIDS対応、心肺蘇生法（AEDの使い方）などの研修を行います。同時に日本赤十字社指導員、警察署等救命救急の研修にも参加します。
- 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の改訂に準じて見直された食物アレルギーの対応について全職員で研修を行い、共通理解を図ります。また食物アレルギーによる発作が起こった時のエピペンの使用方法についても練習用で実践します。
- 備蓄品リストをもとに備蓄品の点検を毎月1回行います。賞味期限が近づいてきた食品は、毎月の避難訓練の日の給食やおやつに使い、常時新しいものに交換して備えます。

#### ⑪その他

- 公立の引き継ぎの園舎であるため施設の老朽化が目立ちます。安全を第一に考慮して必要に応じて修繕工事を行います。